

第 11 回女性起業家大賞・スタートアップ部門 特別賞

女性のキャリアプランの実現を支援

特定非営利活動法人 Arrow Arrow 代表理事 堀江 由香里

子育てや介護など、ライフイベントを抱える男女が働きやすい社会の創造を目指す



退職を余儀なくされる
社会を変えていきたい

NPO法人 Arrow Arrow は、「子育てや介護などの理由に左右されず、仕事を当たり前前に続けられる社会の創造」を目指して活動しています。

「内定をもらったけど、結婚した後も続けるのは難しそうだから諦める」。この言葉は、友人から就職活動中に聞いたものです。実際に就職した先輩女性からも話を聞くと、妊娠・出産を機に6割以上の人が退職を余儀なくされている現実を知りました。「このままではいけない」と問題に向き合う中で、「子育てと仕事、どちらも当たり前前に考えられる社会にしたい」という思いが日に日に強くなりました。そうして試行錯誤した結果、私の考えは決まりました。

「ないなら、つくればいい」
それが、Arrow Arrow をつくり出したきっかけです。

女性社員の起用をサポート

私たちは、中小企業向けに「子育てや介護など、ライフイベントを抱えている女性が成果を出せる

働き方」を実現するお手伝いをさせていただいています。中小企業は大企業に比べ、社員一人一人が抱えている業務量は多く、責任範囲も広いため、一人でも欠けてしまうと大きな痛手となります。そんな中、せっかく仕事を覚えて貴重な戦力となった女性が妊娠や出産で辞めてしまうと、業務を遂行できる社員が減るだけでなく、新しい社員の教育に時間を使わねばなりません。

私たちは、短時間勤務でも業務の質が落ちない働き方や、産育休を取得する前の職種での復帰（現職復帰）が可能な働き方を提案・実現することで、経営戦略として女性社員を活用できる企業を増やしていきたいと考えています。実際、こうした働き方を導入した企業の中には、残業が減って、女性社員が新規事業の立ち上げメンバーに選出されたりするケースもあります。

また、企業だけでなく、ライフイベント前後の女性個人のキャリアを応援する活動も実施しています。自分が勤めている企業に子育て中の女性社員がいない場合、自分のキャリアにも消極的になってしまうケースが少なくありません。

そういった女性に対して、さまざまな働き方や価値観を知ってもらう場を用意しています。お互いの経験を共有することで、自分がキャリアを構築するために何をすればいいのか、具体的な解決策が見えてくるのです。

子育てでも仕事も当たり前前に

今後の日本社会において、女性が短時間勤務でも成果を出せる働き方は、ライフイベントを抱える女性だけの問題ではなく、男性にとっても取り入れていくべき視点です。

そういった成功事例を増やしていきながら、子育てや介護に関わる男女が働き続けていける環境をつくり、自分の選びたい未来を選択できる社会を実現していきたいと思っています。



特定非営利活動法人 Arrow Arrow
(東京都国分寺市)
平成 22 年創業
女性社員向け研修事業、企業向け産育休取得サポート事業
<http://arrowarrow.org/>